BD/DVD

セットアップガイド

BRD-AM2B

この度は、「BRD-AM2B」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に【本書】をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

I・O DATA

B-MANU200547-01

R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH SOY INK 大豆インキを使用しています

動作環境の確認

	Blu-ray Disc（ブルーレイ ディスク）映像編集・再生時	Blu-ray Discデータ書込時/DVD/CDディスク使用時
対応機種※1	本製品が取付可能なドライブベイ（5インチベイ）とIDEインターフェイスを搭載したDOS/Vマシン	
対応OS※2	Windows XP Service Pack 2	Windows XP Service Pack 2/2000 Professional Service Pack 4
搭載CPU※2	Pentium 4 2.8GHz以上	Pentium 4 1.8GHz以上
メモリ※2	512Mバイト以上（1Gバイト以上推奨）	512Mバイト以上
ハードディスク	空き容量 30Gバイト以上（Blu-ray映像編集時は60Gバイト以上推奨）	
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度	
インターネット	本製品をご利用の際には、インターネット接続環境が必要です。	

対応メディア※3
- ●B D：BD-R、BD-RE※4、BD-ROM
- ●DVD：DVD+R※5、DVD+RW、DVD-R※6、DVD-RW、DVD-RAM※7、DVD-ROM
- ●C D：CD-R、CD-RW、CD-ROM

推奨メディア※8

	メディアの速度	メーカー名
1層BD-R	2倍速	TDK、Panasonic
2層BD-R	2倍速	Panasonic
1層BD-RE	2倍速	TDK、Panasonic
2層BD-RE	2倍速	Panasonic
1層DVD+R	16倍速（8倍速書き込み）	太陽誘電、日立マクセル、リコー
	8倍速	太陽誘電、日立マクセル、リコー
	4倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学、リコー
2層DVD+R DL	2.4倍速（最大4倍速書き込み※11）	日立マクセル、三菱化学
	2.4倍速	リコー
DVD+RW	8倍速	日立マクセル、リコー
	4倍速	日立マクセル、三菱化学、リコー
1層DVD-R	16倍速（8倍速書き込み）	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	8倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	4倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
2層DVD-R DL	4倍速	三菱化学
DVD-RW	6倍速	ビクター、日立マクセル、三菱化学
	4倍速	ビクター、日立マクセル、三菱化学
DVD-RAM	5倍速	Panasonic、日立マクセル
	3倍速	Panasonic、日立マクセル
CD-R	太陽誘電、三菱化学	
CD-RW	三菱化学	

ご注意
- ●本製品はドライブベイ（5インチベイ）搭載タイプです。ドライブベイに空きが無い場合は、あらかじめ搭載済みのドライブを取り外す必要があります。
- ●取り付け後、フロントパネルが操作可能な機種でご使用いただけます。
- ●本製品で書込みをおこなったBDメディアは、カートリッジタイプのBD-REメディアを使用するレコーダーでは使用できません。
- ●DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアで作成したDVDビデオは、既存のプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- ●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2 市販のBlu-rayビデオを再生する際には、適切なソフトウェアのアップグレードが必要です。また、動作環境も左記とは異なります。詳細は弊社ホームページにてご確認ください。

※3 ●書き込み2倍メディアのみ対応しております。
●BD・DVD・CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※4 カートリッジタイプのBD-REメディアには対応しておりません。

※5 2層DVD+Rメディアにフルオペレーションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみの読み込むことができます。

※6 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスアットワンスのみ対応しております。

※7 カートリッジから取り出し不可能なメディア（TYPE Ⅱ および2.6Gバイト/面のメディア）には対応しておりません。

※8 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※9 8倍速メディアへの書き込みには対応しておりません。

※10 2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※11 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本製品でのメディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

1.準備しよう

内容物を確認します

□ にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、
弊社サポートセンターにご連絡ください。



□ ドライブ(1台)

☑ BD/DVDセットアップガイド(本書/1枚)
□ BD Proツールズコレクション for BRD-M2 (CD-ROM/1枚)
□ Uleadソフトウェアコレクション(CD-ROM/1枚)
□ Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内(1枚)
□ BD-REメディア（サンプル品/1枚）
□ 取り付けネジ(4本)
□ ハードウェア保証書(1枚)

ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

シリアル番号(S/N)をメモします

シールサンプル▶

シリアル番号(S/N)は本製品底面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。
(例:A0A0000000XX)
シリアル番号(S/N)を下の枠にメモしてください。

型 番 BRD-AM2B
シリal番：A0A0000000XX
定 格：DC5V 1.5A DC12V 1.0A
製 アイ・オー・データ機器

シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。

最新版ファームウェアの ダウンロード http://www.iodata.jp/lib/
ユーザー登録 http://www.iodata.jp/regist/

各部の名称

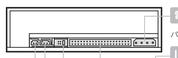
ドライブ前面



- トレイ
- イジェクトボタン（トレイの出し入れを行います。）
- アクセスランプ（読み書き・イジェクト時に点灯/点滅します。）
- 緊急イジェクトホール（メディアが取り出せなくなった場合に使用します。）

注 意 アクセスランプの点灯/点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

ドライブ背面



使用しません。

- 電源コネクター（パソコンの電源ケーブルを接続します。）
- IDEコネクター（パソコンのIDEコネクターと接続するためのケーブルを接続します。）
- オーディオコネクター(アナログ)（市販のオーディオケーブルを使用してパソコン本体のサウンドカードと接続します。機種や環境によっては使用しない場合があります。）
- スイッチ（IDE機器の接続状況により設定を行います。）

2.設定しよう

スイッチを設定します

手順.1

本製品はIDE機器としてパソコン本体に接続します。
下記「IDEの基礎知識」を参考に、取り付ける場所を決めます。

IDEの基礎知識

■ IDEの仕様について

パソコン本体には、以下の2つのコネクター（プライマリー/セカンダリー）があります。

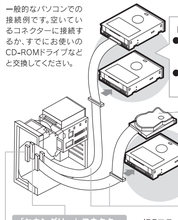
プライマリー(PRIMARY) IDE1の場合があります。
セカンダリー(SECONDARY) IDE2の場合があります。

上記それぞれに、IDEフラットケーブル(以下参照)を使用して、下記の2台ずつ、計4台までのIDE機器を接続することができます。

マスター(MASTER) スレーブ(SLAVE) マスター(MASTER) スレーブ(SLAVE)

■ 接続例

一般的なパソコンでの接続例です。空いているコネクターに接続するか、すでにお使いのCD-ROMドライブなどと交換してください。



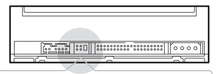
「セカンダリー」に…
●2台接続する場合 どちらかを「マスター」もう一方を「スレーブ」
●本製品のみ接続する場合「マスター」

「セカンダリー」コネクター IDEフラットケーブル 「プライマリー」コネクター

手順.2

手順.1で決めた取り付ける場所にあわせて、本製品背面のスイッチを「マスター」（出荷時設定）または、「スレーブ」のどちらかに設定します。ご使用環境にあった設定を行ってください。

背面図



マスター(MA)（出荷時設定） スレーブ(SL) ケーブルセレクト(CS)



3.接続しよう

本製品をパソコンに接続します

手順.1

パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

手順.2

パソコンのルーフカバー、ドライブベイ（5インチベイ）のカバーを外し、本製品を取り付けます。
パソコンのルーフカバーの外し方、ドライブベイ（5インチベイ）のカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

手順.3

各ケーブルを接続します。

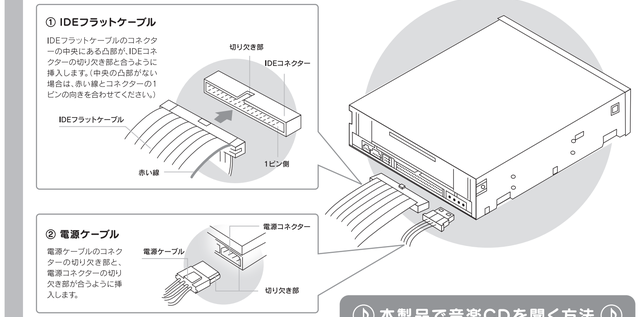
① IDEフラットケーブル

パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクターに接続します。プライマリー（1番列目）またはセカンダリー（2番列目）を充分確認し、接続してください。

② 電源ケーブル

パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクターに接続します。

ご注意 ケーブルを差し込むときは ケーブルの向きにご注意ください。
逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクターを破損する恐れがあります。コネクターを抜き差しする場合は、ピンが折れないようにコネクターをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。



手順.4

添付の取り付けネジで本製品をとめます。
お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

手順.5

パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

♪ 本製品で音楽CDを聞く方法 ♪

デジタル再生する ♪
本製品のオンラインマニュアル内[ミニ知識]をご覧ください。

アナログ再生する ♪
市販のオーディオケーブルで、本製品背面のオーディオコネクターとサウンドボードのCD IN(コネクター)またはパソコン本体のオーディオコネクターに接続してください。(オーディオケーブルはお使いのサウンドボードやパソコンのオーディオコネクターの形状に合ったものをご使用ください。)
すでにお使いのCD-ROMドライブと本製品を併用する場合、オーディオケーブルは、すでにお使いのCD-ROMドライブから本製品のどちらか一方の接続となります。

4.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

パソコンを起動して[マイコンピュータ]を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。



↑(画面例:Windows XP)

アイコンの追加を確認 ※ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。

Windows 2000の場合 左記のアイコンの追加を確認します。

こんなときには

パソコンが起動しない場合

[2.設定しよう]を参照し、もう一度、本製品の「マスター」「スレーブ」設定をご確認ください。



アイコンが追加されていない場合

- ●[表示]メニューの[最新の情報に変更]をクリックしてみてください。
- ●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。
（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）

注意事項

その他ご注意

- ●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。
- ●本製品を使用する際には、Windowsの転送モードをDMAに設定してください。
- ●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- ●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
- ●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。
- ●本製品はパソコンの省電力機能には対応しておりません。

裏面へお進みください。

製品仕様

ドライブ名	SW-5582(OEM供給元：パナソニック四国エレクトロニクス株式会社)
インターフェイス仕様	ATAPI(Ultra DMA Mode 4)
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmメディアのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
データバッファサイズ	8Mバイト
書き込みエラー回避機能	搭載

最大書き込み/読み込み速度
※ BD×1の転送速度はDVDの×3.25に相当します。

	BD	1層/2層 -R	1層/2層 -RE	2層 ROM	CD	-R	-RW	ROM
書き込み		×2	×2	-	書き込み	×24	×16	-
読み込み		×2	×2	×2	読み込み	×32	×24	×32

	DVD	1層 +R	2層 +R	+RW	1層 -R	2層 -R	-RW	RAM	ROM
書き込み		×8	×4	×8	×8	×4	×6	×5	-
読み込み		×8	×8	×8	×8	×8	×8	×5	×8

適合フォーマット
- ●B D:BD-ROM
- ●DV:DVD-Video、DVD-ROM
- ●C D:CD-ROM mode 1、CD-ROM mode2(form 1、form 2)、CD-Extra、CD-I、PhotoCD、Video CD、CD-DA、CD-TEXT

平均アクセスタイム	●BD-ROM ：210ms ●CD-ROM ：160ms ●DVD-ROM：170ms ●DVD-RAM：220ms
書き込み方法	●BD-RE：Random Access ●BD-R：Sequential Recording、Random Recording、Sequential Recording with Logical Overwrite ●DVD+R：Sequential write ●DVD+RW：Random write ●DVD-R：Disc at Once、Incremental ●DVD-RW：Disc at Once、Incremental、Restricted Overwrite ●DVD-RAM：Random write ●CD-R/RW：Disc at Once、Session at Once、Track at Once
アナログライン出力	0.65Vrms
電源仕様	DC +5V±5%、+12V±10%
定格電流	5V：1.5A、12V：1.0A
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%～80%（結露なきこと）
外形寸法	146(W)×190(D)×41.3(H)mm（フロントベゼル含まず）
質量	約1kg（本体のみ）

てっトリ早く Blu-ray（ブルーレイ）を使ってみよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

Blu-rayに映像を保存したい	Blu-rayにデータを書き込みたい	DVDビデオを作りたい	データDVDを作りたい	Blu-rayの映像を再生したい	DVDを再生したい
Ulead BD DiscRecorder 2.5	Ulead Data-Add 2.5	DVD MovieWriter 4.7	Ulead Burn.Now 3	InterVideo WinDVD BD	InterVideo WinDVD 5

BDレコーディングソフト
Blu-ray Discへ映像ファイルを書き込んだり、デジタルビデオカメラから直接レコーディングする際に使用します。

パケットライトソフト
インストールすると、Blu-ray Discメディアにドラッグ&ドロップでデータを書き込むことができます。
※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。

DVDオーサリングソフト
既存の映像ファイルやDVカメラの映像を使って、DVDビデオを作成する際に使用します。

データライティングソフト
データBD/DVD/CDを作成することができます。
※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトインストールされている場合は、それらのソフトをアンインストールしてください。

Blu-ray Disc再生ソフト
作成したオリジナルBlu-ray Discの映像を再生することができます。
※市販のBlu-rayビデオを再生するにはホンソフトウェアをアップデートする必要があります。詳細は弊社ホームページをご覧ください。
http://www.iodata.jp/prod/storage/bla-ray/2006/brd-um2/

DVD再生ソフト
市販のDVDや作成したDVDビデオ、または家庭用DVDレコーダー等 録 画 されたDVD±R/RW、DVD-RAMを再生することができます。

これらのソフトは、[Uleadソフトウェア]CD/CD-ROMを入れると一度にインストールされます。

BDに映像ファイルを保存する 手順については

デジタルビデオカメラから直接BDに映像を保存する手順については

BDメディアにデータを書き込む 手順については

DVDビデオの作成 手順については

DVDメディアにデータを書き込む 手順については

作成したBlu-rayの映像を再生する 手順については

DVDビデオの再生 手順については

[BD Pro ツールズコレクション for BRD-M2]CD-ROMに収録されています。

添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。

①[BD Pro ツールズコレクション for BRD-M2] CD-ROMを本製品にセットします。
自動でメニューが表示されます。メニューが表示されない場合は、CD-ROMの[Menu.ii]([Menu.exe])を起動してください。

②[オンラインマニュアルを読む] ボタンをクリックします。

③お使いの製品のシリーズ名をクリックし、起動します。

参考 添付の「BD Pro ツールズコレクション for BRD-M2」CD-ROMにはその他に以下のソフトウェアも収録されています。

AdobeReader	PDF文書ファイル閲覧ソフト：各ソフトに付属しているPDF形式の文書ファイルを読む際に使用します。
見張っトレイ for DATA	トレイコントロールユーティリティ：パソコンをシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。 ※使用方法は見張っトレイのオンラインマニュアルをご覧ください。[スタート]→[すべてのプログラム]→[見張っトレイ]→[オンラインマニュアル]から起動します。
オンラインマニュアル for DATA	本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困ったときには」などについて説明しています。

用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。

※収録されているソフトをお使いの場合には、Windowsを管理者（Administrator）権限でログオンしてください。

1 添付のCD-ROMを本製品に挿入します。
2 メニューが表示されたら[インストールする]をクリックします。
3 インストールしたいソフトをクリックします。
4 表示に従ってインストールを進めます。
5 インストールが完了します。（再起動が必要な場合があります。）

[Uleadソフトウェア]CDの場合は 4 へ

こんな時には…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

必要 シリアル番号/CD-Key
●WinDVD BD：
●WinDVD 5 for OEM：

てっトリ早く Blu-rayに映像を保存しよう

ここではDVD MovieWriter 4.7 BD versionを利用して、BDメディアに映像ファイルを保存する手順を説明します。

1 動画ファイルを準備します。
●TVキャプチャ
●VHSビデオデッキ
●DVカメラ etc.

※動画ファイルの作成方法やDVカメラとの接続方法はお使いのキャプチャ機器・DVカメラの取扱説明書をご参照ください。

2 DVD MovieWriter 4.7 BD versionを起動します。
[DVD MovieWriter 4.7 BD version]アイコンを ダブルクリック
DVD MovieWriter 4...

3 表示されたメニューから[BD]→[ビデオBDの作成]の順にクリックします。
① BDを クリック
② [ビデオBDの作成]を クリック

4 [次へ]ボタンをクリックします。
[次へ]を クリック

5 [メディアの追加]枠の中から をクリックします。
クリック

6 ビデオに書き込みたいファイルを選択します。
① ファイルを 選択
② [開く]を クリック
ここでDVD画質の映像ファイルを選択すると長時間の映像ライブラリBDを作成することができます。

7 [次へ]ボタンをクリックします。
[次へ]を クリック

8 本製品にBDメディアを挿入します。

9 [書き込み]をクリックし、書き込みを開始します。
[書き込み]を クリック
完成!

こんな時には…
■下記のようなメッセージがでた・・・
⇒初めてBDメディアを使う場合には、メディアの初期化が必要です。
［OK］ボタンをクリック後、次の手順で初期化をおこなってください。

1.［ディスクの初期化］をクリックします。
① [ディスクの初期化]を クリック

2.［OK］ボタンをクリックします。
② [OK]を クリック

3.［OK］ボタンをクリックします。
③ [OK]を クリック

困った時には…
添付「BD Proツールズコレクション for BRD-M2」のCDメニューより［Q&A］をご参照ください

それでもわからなかったら…
コニシデジタルサービス
045-226-1966
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
（土・日・祝日は休日とさせて頂きます）

てっトリ早く Blu-rayを再生しよう

ここではWinDVD BDを利用して、作成したオリジナルBlu-rayを再生する手順を説明します。

※市販のBlu-rayビデオを再生するにはホンソフトウェアをアップデートする必要があります。詳細は弊社ホームページをご覧ください。
http://www.iodata.jp/prod/storage/bla-ray/2006/brd-um2/

1 WinDVD BDを起動します。
[InterVideo WinDVD BD for I-O DATA]アイコンを ダブルクリック

2 再生するBlu-ray Discを挿入します。
挿入すれば、自動的にBlu-rayの再生がスタートします。

こんな時には…
■Windows XPで左のようなウインドウが表示される
→キャンセルをクリックします。

困った時には…
添付「BD Proツールズコレクション for BRD-M2」のCDメニューより［Q&A］をご参照ください

それでもわからなかったら…
コニシデジタルサービス
045-226-3899
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
（土・日・祝日は休日とさせて頂きます）

てっトリ早く BDにデータを書き込もう

ここではData-Add 2.5を利用して、BD-REメディアにデータを書き込む手順を説明します。

1 BD-REメディアを本製品に挿入します。

2 エクスプローラにある本製品のアイコンを右クリックし、[Data-Addのディスクフォーマット]をクリックします。
① アイコンを 右クリック
② [Data-Addのディスクフォーマット]を クリック

3 表示された画面でファイルシステムバージョンが[UDF 2.5]になっていることを確認し、[開始]ボタンをクリックします。
① [UDF 2.5]を 選択
② [開始]を クリック

※ 2 ～ 3 の手順は初めてBD-REメディアを使う際のみ必要です。
※DVD±RW/RAM、CD-RWメディアも同様の手順でデータを書き込むことができます。

てっトリ早く DVDにデータを書き込もう

ここではBurn.Now 3を利用して、DVDメディアにデータを書き込む手順を説明します。

1 Burn.Now 3を起動します。
[Ulead Burn.Now 3]アイコンを ダブルクリック

2 [ディスクの作成]、[新規プロジェクト]、[データディスク]が選択されていることを確認し、書き込み先で[DVD]を選択、[OK]ボタンをクリックします。
① 確認
② [DVD]を 選択
③ [OK]を クリック

3 画面上段で保存したいデータを選択し、下段にドラッグ&ドロップします。
ドラッグ& ドロップ

4 本製品にDVDメディアを挿入し、書き込みアイコンをクリックします。
書き込みアイコンを クリック

5 ドライブに本製品を選択し、書き込みアイコンをクリックします。
① 本製品を 選択
② 書き込みアイコンを クリック
完成!

てっトリ早く
デスクトップ上やエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップしてサムネイルバリエに動画ファイルを追加することもできます。
ドラッグ& ドロップ

注意 Burn.Now 3 + Data-Add 2.5 を使用する際のご注意

- 書電力機能を無効（オフ）にしてください。無効（オフ）にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- マルチセッション：マルチボーダー（セッション単位でデータを追記することです。[追記]したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「Burn.Now」の［BD/DVD/CDドライブ］メニューの［ディスク情報］を選択してください。エクスプローラの［ファイル］メニュー［プロパティ］を選択すると表示される“使用領域”では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
- ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- 2層DVD±Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最後のセッションの内容のみ読むことができます。
- 「Data-Add」はリライタブルメディア（BD-RE、DVD±RW、DVD-RAM、CD-RW）への書き込みのみ対応しております。
- 一度でも書き込みに失敗したBD-R/DVD+R/+R DL/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。

また、書き込みに失敗したBD-RE/DVD+RW/+RW DL/CD-RWメディアは［Burn.Now］を使用して、いったんイメージを消去した後にご利用ください。
- いったん［Burn.Now］と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず［Burn.Now］と本製品を使用してください。また、いったん［Data-Add］と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず［Data-Add］と本製品を使用してください。
- 一度［Data-Add］でフォーマットしたBD-RE、DVD±RW、CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、［Data-Add］で再フォーマットしてください。
- Burn.Nowのエラー回避機能のチェックを外さないでください。書き込み時に表示される「書き込みエラー防止機能を使う」をONにしてください。
- 音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。
- 「Burn.Now」を使用したDVD-RWメディアへ書き込みを行う場合、ディスクを閉じることはできません。

注意 DVD MovieWriter 4.7 BD version、WinDVD 5 for OEMを使用する際のご注意

- 本製品のDVDのリージョンコードは、出荷時状態で「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証を致しかねます。
- CPRM技術で録画されたDVDメディアを再生・編集するには、サードパーティのCPRM（Pack）をダウンロードし、インストールする必要があります。インターネット接続環境が必要です。
なお、ダウンロード回数には制限がありますので、ダウンロードしたプログラムは大切に保管してください。手順については、本製品のオンラインマニュアル「DVDビデオを作ろう」および「DVDビデオを再生しよう」をご覧ください。

困ったときには

BD DiscRecorder 2.5、DVD MovieWriter 4.7 BD version、Burn.Now 3、Data-Add 2.5 で困ったら…

1 ソフトウェアのオンラインマニュアルを確認する。
［スタート］メニューの[Ulead DVD Movie Writer 4.7 BD version]から起動します。

2 ホームページでサポート情報を見る。
http://www.ulead.co.jp/

それでも解決しなったら

3 サポートに問い合わせる。

ユーリードシステムズ株式会社
ユーザーサポート係
TEL 045-226-1966
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
（土・日・祝日は休日とさせて頂きます）
※お問い合わせの際はユーザー登録が必要です。
※インターネットのよくイントラへ内のFAQ、各ソフトウェアを起動し[バージョン情報]を参照してからご連絡ください。
http://www.ulead.co.jp/
E-Mail：上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

WinDVD BD や WinDVD 5 for OEM で困ったら…

1 ソフトウェアのヘルプを確認する。

2 ホームページでサポート情報を見る。
http://www.intervideo.co.jp/

それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。

インタービデオジャパン株式会社
テクニカルサポート
TEL 045-226-3899
FAX 045-226-3895
受付時間：09:30～12:00/13:30～17:30
（土・日曜日と祭日・年末特別休業日、祝日は除く）
http://www.intervideo.co.jp/support/
E-Mail：techsupp@intervideo.co.jp

Blu-rayドライブ本体 や 見張っトレイ で困ったら…

1 添付の「BD Proツールズコレクション for BRD-M2」CD-ROMに収録されているQ&Aを確認する。

2 ホームページでサポート情報を見る。
●製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/
●最新サポートソフト
http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。

株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター
TEL[東京] 03-3254-1095
TEL[金沢] 076-260-3688
FAX[東京] 03-3254-9055
FAX[金沢] 076-260-3360
［受付時間］09:30～19:00 （年一度臨時休業日を除く）

修理について

修理を依頼する前に

以下の事項をご確認ください。

●お客様が made in のソフトなどについて
修理の際に、本製品に関するお客様のデータが消去されることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは決れますのでご了承ください。

●修理金額について
■保証期間中は、無料にて修理いたしますただし、ハードウェア保証書に記載されている保証規定に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理が行なえない場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復分がかかります。修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入して返送ください。ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにてご連絡させていただきます。

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の手順で行ってください。

1.メモに控え、お手元に置いてください。
お送り頂く製品の型番名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

2.これらも用意してください。
■お客様登録を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下記の内容を書いたメモ
・製品名（型番）/名前（あれば）/FAX番号　・日中にご連絡できるお電話番号
・ご使用環境（機種構成、OSなど）　・故障状況（どうなった）

3.修理品を梱包してください。
■2.で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損・紛失のため、ご購入時の箱・梱包材のご梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

4.修理をご依頼ください。
■お電話にて、下の送付先までお送りください。
※弊社にて修理品は弊社への持ち込みや訪問できず、送付された場合は、別途の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、郵送等を避けるため、宅配便か営業部等の当社お届けください。

送付先
〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目64番地
アイ・オー・データ機器ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

■修理品引取後、通常約1週間程度で弊社より返送できます。
※ただし、梱包の構造や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

使用上のご注意

著作権について
この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている本材を制作する目的でのものであり、もしあなたが自身が著作権を所有していない場合は、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となる場合、罰則金を含む損害賠償を負うことがあります。詳細自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

本製品のライティングソフトについて
■本製品以外での使用は保証できません。また、本製品でのライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は保証ではサポートいたしかねます。
■ご使用のライティングソフトウェアーカーへのお問い合わせください。
■書き込みに失敗したメディアの保証はいたしかねます。
■BD-RE、DVD+RW/+RW、CD-RWメディアの消去（初期化）は書き込みを行うライティングソフトウェアを使用してください。

DVDの地域コード（リージョンコード）について
本製品は、日本の地域コードで出荷されていますソフトウェアエアDVDプレーヤーなどで市の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。

商標について
●i-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●その他、一般に社名、製品名は各々の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拓げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サービスセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目64番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

2006.05.16 Copyright © 2006 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.